

浪江で農業を始めませんか？

就農に関する相談を受け付けています



浪江町農林水産課では、町内での新規就農に関する相談を随時受け付けています。就農前の研修先や各種支援制度についてもご紹介することができます。就農イベントにも積極的に参加していますので、ぜひお気軽にお問い合わせください！

町の就農に関する
情報はこちら



福島県で農業しよう！
ふくのう



相双就農
ポータルサイト



浪江フラワープロジェクトの
最新情報をホームページで！

これまでの花通信やアーカイブ動画を公開中！

<https://www.namie-flower.jp>



Facebookも
チェック

浪江町 農林水産課

〒979-1592 福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7-2

TEL: 0240-34-0245

<https://www.town.namie.fukushima.jp>



浪江町



春夏
Spring-Summer
2023

なみえ花通信

浪江の花作りと農業の最新情報をお届け！



浪江町産“トルコギキョウ”の 特長も、あらためて教えて!

今年も浪江町の花農家さんは、春から夏にかけて“トルコギキョウ”の定植～出荷で大忙しでした。現在、首都圏の花市場で高い評価を受けるようになった“浪江町産 トルコギキョウ”。その特長について Jin ふる～る清水代表にうかがいました。「2013年にゼロからスタートした浪江町のトルコギキョウ栽培ですが、現在10件の花農家さんになるまでに成長しました。主に栽培しているのは、◎大輪で ◎茎が太く ◎フリンジ*で ◎日持ちする という品種です。何よりも見た目を美しくするために「栽培技術」や「仕立ての技術」が必要ですが、浪江町の花農家さんみんながその技術を持っているのが強みですね。だから花市場で高い評価がもらえているのだと思います。」と教えて頂きました。浪江町フラワープロジェクトの Instagram では栽培されているお花を中心に紹介をしています。ぜひアクセスしてくださいね!

※花卉の縁に細かい切れ込みが入った形



Jinふる～る清水代表「こんなに茎が太いのよ」と説明を頂きました



浪江町で栽培されているお花情報が満載のInstagram ぜひご覧ください



春夏で約10万本出荷を達成したトルコギキョウ(写真は 光ちゃん農園 圃場)



次は「目指せ100万本出荷」報告会に参加した花農家さん

Flower
News
Aug.2023

春夏出荷で、約10万本の トルコギキョウ出荷を達成!

今年、7月中旬から始まった浪江町のトルコギキョウ出荷は8月末でひと段落しました。そこで、トルコギキョウを出荷した花農家さんが集まり、春～夏出荷の報告会が開催されました。今年は気象庁が1898年から統計を開始した以降、過去最高の猛暑という発表がありました。その影響がとて大きく、花の生育状況の変化が早かったり、咲きはじめが想定外に早まったりと、例年とは全く違う育成状況下で各花農家さんは試行錯誤。それでも「三花三蕾(さんかさらい)」を基本とした浪江町産らしいトルコギキョウを出荷できました。その総数、浪江町全体で約10万本出荷を達成です! 次の目標を花農家さんたちは「目指せ100万本!」とし、決意を新たにしました。浪江町のトルコギキョウ出荷は晩秋まで行われる予定です。今年1年の出荷本数が何万本になるのか、期待しましょう。

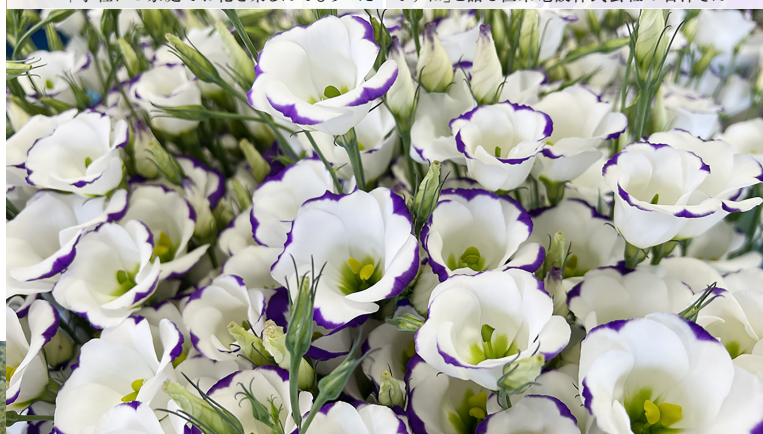
Flower
News
June, 2023

首都圏市場で大人気!! 花木農家の視察・体験

全国展開するフラワーショップ「Aoyama Flower Market (青山フラワーマーケット)」。エキュート品川店ショップクリエイター工藤真希子さん、船橋東武店ショップマネージャー西邑文治さんによる、花木農家 小野田ファームの視察・体験が行われました。現在、花木は首都圏で需要が高いと言う工藤さんは「圃場の大きさにまずは驚きました。余裕がある分、効率的な作業や品質管理が出来ているのだと思います」と感想を頂きました。西邑さんは「とても丁寧に品質を管理し、出荷まで対応しているのが分かりました。生産者の顔が見えるというのは仕入れる側にとっても安心材料です。今後とも今の高い品質を維持していただきたいです。私たちとしても浪江町を産地として注目していきます」と語って頂きました。小野田ファーム 小野田浩宗さんは「首都圏における花木のニーズやトレンド、また実際にショップで求められる品質などヒアリングが出来たので有意義な時間でした」と感想を頂きました。浪江町の花木、いま首都圏で注目が高まっています!



「手軽にご家庭でお花を楽しんでもらいたいですね」と語る恒栄電設株式会社の石澤さん



小ぶりで可愛い無花粉タイプのトルコギキョウはホームユース向けに開発されました



写真右から 青山フラワーマーケット 西邑文治さん、工藤真希子さん
小野田ファーム 小野田留美さん、浩宗さん・東日本板橋花き 金井麻佑花さん、今田優作さん



「私たちのニーズに対応してくれる事が分かりました」と語る工藤さん(写真右)

Flower
News
July, 2023

お花もいよいよ “サブスク”時代到来!?

今年の夏、花業界で大きな話題となった、サカタのタネと株式会社大田花き共同で発表された『花のEC・サブスクリプション』。ホームユース向け切り花市場の拡大に注目が集まっています。今回の商品仕様は福島県、長野県で栽培されるトルコギキョウで無花粉タイプのトルコギキョウ「ソロPF」シリーズ。この取組に浪江町から恒栄電設株式会社(フラワーファームなみえ)が参加しています。「サカタのタネ様と株式会社大田花き様にお声がけ頂きました。元々、当社は電気設備会社からの異業種参入ですから、新品種も販売方式も新しい事へのチャレンジは望むところです」「新聞で将来的に全国の生産者で100万本という発表があって反響も多く驚いています。今年にはまずは当社としては4万本の出荷見込みですね」と語る恒栄電設さん。新しい品種・業態にチャレンジするのも恒栄電設さんならではの。今後の新しい花市場開拓にも注目が集まる浪江町の花作りです。

What's new? 浪江の旬な情報をお届け!

What's new 01 希望を繋ぐ、絆を繋ぐ『浪江のオリーブ』



浪江町立野地区『ノアのオリーブ園(加藤 修さん、すみい さん)』ではオリーブに取り組んでいます。未経験からのオリーブ栽培は、宮城県石巻市雄勝町でオリーブを栽培している徳水博志さんに指導を受けました。宮城県石巻市雄勝町も東日本大震災で大きな津波被害にあった後、オリーブ栽培が始まった場所。「希望を繋ぐ、絆を繋ぐ」を合言葉にオリーブオイル、オリーブ 塩漬けの商品化を目指しています。

What's new 02 大学生も注目『サムライ ガーリック』



夏休み終盤、福島県浜通りは全国の学生が集まり、多くの視察や研修で賑わいました。浪江町で馬の堆肥で育てる「サムライガーリック」を栽培・販売する株式会社ランドビルドファーム吉田さやかさんの作業場でも全国から来た大学生の視察・農業体験が行われました。参加した大学生たちは「農業を通じて古を受け継ぎ、それがブランド化(ネーミングなど)され新しさに繋がるという取り組みに驚きました」と感想を語ってくれました。



Eat at the local Namie Town.

味わってみよう!

浪江町産

“農業を咲かせる浪江町”では今、野菜から果物まで、さまざまな農業がスタートしています。その浪江町産農産物を浪江町ならではの食べ方を紹介!「味わってみよう! 浪江町産、美味しくたべよう浪江町産」。ぜひご家庭でも試してみてくださいね。

“秋の『常磐もの』はニンニクと合わせて”



福島県浜通りは水産業が盛んな地域で、福島県沖で獲れる『常磐もの』とよばれる魚介類は、日本の台所豊洲市場でとても高い評価を得ています。今回は常磐沖で獲れた秋の味覚「戻り鰹」と浪江町産のニンニクで浜通りの漁師流食べ方を紹介します。「戻り鰹」は脂が乗っ

ているので、お刺身がおすすめ。漁師流ではシンプルに「塩」と「ニンニク(もちろんサムライガーリック)」、そしてちよつとの「ごま油」。素材そのもの「戻り鰹」らしい味わいに、ニンニクのパンチを活かした浜通り漁師の鉄則の食べ方です(笑)。カツオは新鮮なものを用意しても臭みが気になるという方もいるので、ニンニクはピタリですね。

紹介者: 浪江町ニンニク農家
株式会社ランドビルドファーム 吉田さやか さん
レシピ: 戻り鰹、サムライ・ガーリック、岩塩、ごま油

